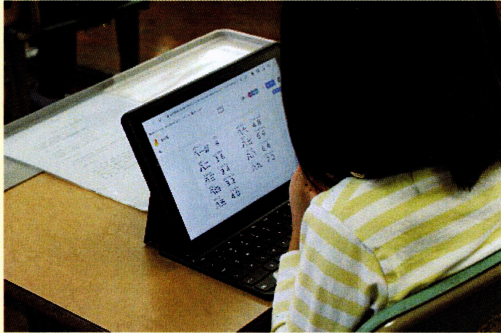



研究の実際

- 本年度は、授業研究会の授業公開担当校であった。事前に西岳・夏尾ブロック内の小・中学校の教員を低・中・高学年部に分け、それぞれGoogle meetを活用して事前研を2回行った。その後、11月9日の授業研究会で本校の授業を公開し、研究協議を行った。

第1学年及び第2学年の授業の手立てと児童の反応

手立て	児童の反応
<ul style="list-style-type: none"> ○ タブレットを使った学習の流れを習慣付けることで、自ら学ぶことができるようにした。(2年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちで、本時で学習する8の段を練習することができた。  <p data-bbox="887 869 1390 896">【タブレットで提示した九九を音読する児童】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「調べる」段階で、「話し合いの進め方」に沿って、自分たちの考えを発表した後、説明する人、数図ブロックを動かす人、式と答えを書く人の役割分担をし、自分たちで考え方を説明できるようにした。(1年) ○ 「深める」段階で、教科書の練習問題をノートに書き、答えをGoogleFormに入力することで、正誤がすぐに分かるようにした。(1年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの役割で発表の準備ができたが、友達に説明の間違いを指摘されても、受け入れられない様子が見られた。  <p data-bbox="887 1373 1390 1400">【役割に沿って準備をする児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 時間が足りなくなり、本時で実施することができなかった。

授業の成果と課題

(1) 成果

- 「九九練習進行」や「話し合いの進め方」を活用することで、自分たちで練習や話し合いを進めることができた。
- 2年生の学習で、Jamboardを活用して、8の段の読みを含めて提示することで、自分たちで正確な読み方ができた。また、教科書のQRコードを活用して8の段の練習をすることで、自分のペースで8の段の練習をすることができた。

(2) 課題

- 2年生の8の段の練習は、みんなで音読をした後は、個人で黙々と練習するのみであった。答えを確認する意味でも、友達同士で練習する必要がある。
- 1年生で、繰り上がりのあるたし算のさくらんぼ計算の理解が不十分な児童が見られた。計算はできるので、さくらんぼ計算の意味とやり方も身に付けさせるようにしていく。
- 時間配分が不十分で、1年生に練習問題をさせることができなかった。